

高知県工業技術センターだより

▶ NEDO 補助事業に採択 ～資源環境課～

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の2023年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」に兼松エンジニアリング(株)との共同研究が採択され、事業名「未利用バイオマス資源の有効活用のための低コスト・高効率マイクロ波炭化技術の開発」に取り組んでいます。この共同研究において当センターは、兼松エンジニアリング(株)が開発する炭化装置から作られる炭化物の分析・評価の役割を担っています。評価結果のフィードバックや情報収集などを通して、より高効率かつ低コストで炭化物を作ることのできる炭化装置の開発に貢献したいと考えています。来年度も引き続き、CO₂低減、資源の有効利用を目指して取り組んで参ります。

▶ 技術研修

鈴木主任研究員が、産業技術総合研究所が行っている地域産業活性化人材育成事業の外来研究員として産業技術総合研究所四国センターで、細胞レベルの新しい機能性評価技術の習得に取り組んでいます。

産総研四国センター細胞機能解析研究グループでは、「生体の機能を可視化し、制御する技術」の開発を行っており、独自に開発した生物発光レポーターを活用し

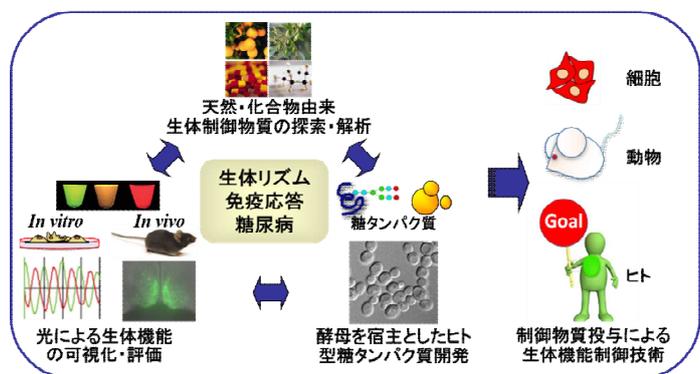
て、細胞を光らせることにより特定の遺伝子の発現量を含む細胞内情報をリアルタイムで計測するシステムを構築しています。このシステムを利用すれば、薬効や食品機能性、毒性等の評価を迅速かつ大量に行うことが可能となります。これまで、主に酵素活性試験を中心として植物の機能性評価を行ってきましたが、この技術を習得することにより、メカニズムや実際の機能を詳細かつ迅速に評価することが可能となります。

最終的には、高知県に存在する植物群をレポーターアッセイにより評価し、県産品の高付加価値化や県内未利用植物を使った新商品の開発を目指します。

▶ 技術者養成講座ご案内

資源環境課では、技術力を向上させた「人材を育成する」という視点で、従前から「分析」に特化した講座を行っています。次年度も5月から開催を予定しております。一つの講座だけを受講す

生体の機能を可視化するとともに、生体を制御する技術の開発



ることも可能ですが、ぜひ企業の皆さまには関連する講座を体系的に受講していただき、技術者を育てることで生産現場の技術課題の解決や改善の動きにつなげていただきたいと思います。詳細が決まり次第、改めてご案内させていただきますので、奮ってご参加ください。

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15

